

南地域見守り支え合い勉強会



日常生活のごく一部で、何かをし
ながらお互いを見守る『ながら見守
り』について「見守り支え合い勉強会」
が開催されました。

前半は、地域包括支援センター職
員から、認知症について正しい理解
を深めるとともに身近な方の変化に
気付くためのポイントを学び、自分
でできる認知症の気づきチェックリ
ストを実施しました。

また、後半では、「地域の健康は、
自身の健康づくりから」と題して、
軽費老人ホーム一期一会荘の廣江直
樹さん、村山陽子さんから脳トレや
口腔体操を教わり、自身の健康維持
について考える機会になりました。



1/20
土

喜びも悩みも分かち合おう



児童センターで毎月第2木曜日に、
多胎育児をしている親が交流するツイ
ンズの会(午前10時30分から11時30分)
が開かれています。参加費は無料。会
員制ではなく妊娠中の方も自由に参加
できます。

多胎育児は、労力も1人育児の2倍
以上。ツインズの会では、子どもを遊
ばせながら子育ての悩みや知恵を共有
できる情報交換の場になっています。

「多胎妊娠がわかった時点から、単
体の妊娠に比べ母体の負担が大きく
「私に育てられるのか」と不安になり
ます。先輩ママから『双子のあるある』
について聞くだけでも漠然とした不安
が解消できるので、多胎妊娠が分かっ
たらツインズの会にぜひ参加してくだ
さい」と参加者。

問合せ先

北児童センター ☎95-7141



1/11
木



「鬼はそと 福はうち」西保育園で節分行事

2/2
金

2月3日の節分を前に西保育園で豆まきがおこなわれました。

園児は事前に先生から節分の由来について話を聞き、年齢ごとに工夫を凝らしお面作りをしました。また、年長児が節分行事の豆まきをどのようにおこなうか『ごども会議』を開き「怖い鬼でなく、優しい鬼になって、小さい組をまわろう」と決めました。

行事当日は鬼のお面を被り、異年齢児で「おにのパンツ」を元気に踊り、メインイベントの豆まきでは、いつも仲良くしてくれているお兄さんお姉さんが鬼になって登場。小さい組の子どもたちは大喜びで、元気に「鬼はそと、福はうち」と新聞紙の豆をまくと、年長児が「痛い、まいった」と鬼のリアクションをして盛り上げられました。

節分の行事を通し、年長児に年下の子を思いやる優しい気持ちや育まれ、温かい異年齢児の交流ができました。

今後日本の伝統行事を子どもたちに伝え、大切にしていきます。

子ども会 紙ひこうき大会

1/14
日



▲会場の中央公民館集会室で

毎年好評の子ども会主催「紙ひこうき大会」が開催され、紙ひこうきをより遠くへ飛ばし、飛んだ距離を競いました。290名の親子が、折り方や飛ばし方を工夫するなど、楽しく参加しました。次回は、8月に開催予定です。

未就学児の部

- 1位 近藤莉斗さん(上小口)
- 2位 倉知柗太朗さん(大屋敷)
- 3位 澤詔美緒さん(萩島)

1年生・2年生の部

- 1位 小倉悠叶さん(上小口)
- 2位 齋藤 巧さん(河北)
- 3位 小原いちかさん(中小口)

3年生・4年生の部

- 1位 丸山慶一郎さん(竹田)
- 2位 秋田孝仁さん(余野東)
- 3位 佐竹天瑠さん(秋田)

5年生・6年生の部

- 1位 佐竹琉嘉さん(秋田)
- 2位 山本煌太さん(秋田)
- 3位 市川竣翔さん(秋田)

中学生以上の部

- 1位 開田雅晶さん(中小口)
- 2位 佐竹 努さん(秋田)
- 3位 田上雅規さん(中小口)



▲開田雅晶さん



▲丸山慶一郎さん



▲近藤莉斗さん



▲佐竹琉嘉さん



▲小倉悠叶さん